

整理番号
136

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	スポーツ振興事業（再掲）			担当課	生涯学習課
業務名	スポーツ推進計画の策定			担当係	スポーツ推進係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		計画期間	令和6年度～令和7年度
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション		事業区分	直営
主な取組	1	スポーツの振興に関する指針の策定		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	10	6	1 スポーツ振興事業（スポーツ・レクリエーション）	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図る。

事業概要【PLAN】
市民が一人スポーツに親しむことで、健康で豊かな暮らしができる社会を実現するため、各種体育大会の支援をはじめスポーツ推進団体に対する補助等を行う。

対象【PLAN】	①市民 ②総合計画	意図【PLAN】	①市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ健康で文化的な生活を送っている。 ②将来都市像の実現に向けたまちづくりが推進されている。
-----------------	--------------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
スポーツ推進計画策定委員会を設立し、アンケート結果を踏まえた現状と課題の把握、骨子の作成を行い、委員会に諮っていく。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	—	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	—	0	0	0		
	地方債	千円	—	0	0	0		
	その他	千円	—	0	0	0		
	一般財源	千円	—	463	440	0		
	事業費合計	千円	—	463	440	0		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
スポーツ計画（仮称）策定数	計画数	実績値が目標値以上となること	目標値	—	—	1	—	—
			実績値	—	—			
			達成率	—	—			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査により市民の意向を把握し計画に反映している。 スポーツの意義が広義になっている中、社会需要は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	スポーツ推進計画が策定されることでスポーツ行政の指針が示されることにより、将来都市像の実現に向けたまちづくりが推進される。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	計画策定を自課で行っている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	計画策定を自課で行ったため、担当職員の負担が非常に大きかった。次回の計画策定の際は、自課で策定する場合、業務の一部を委託する場合等との比較しながらその方法について検討を行いたい。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
137

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	スポーツ関連施設維持管理事業				担当課	生涯学習課
業務名	-				担当係	スポーツ推進係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション			事業区分	直営
主な取組	2	スポーツ施設の整備充実			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	10	6	2	スポーツ関連施設維持管理事業（スポーツ・レクリエーション）	

目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図ります。					
事業概要【PLAN】	社会体育施設がスポーツ・レクリエーションの場として、安全・安心に行えるよう施設環境の維持に努めるため適切な管理を行います。					
対象【PLAN】	①市民 ②施設	意図【PLAN】	①市民が安全・安心にスポーツに親しめる。 ②老朽化が進む中でも適正な維持管理を行い市民が不自由なく使用している。			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	伊達市スポーツ振興公社と連携し、修繕が必要な個所を一覧にまとめ優先順位を決めて実施する。					

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	8,584	12,818	44,612	13,995		
	事業費合計	千円	8,584	12,818	44,612	13,995		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
計画修繕施設	箇所	実績値が目標値以上となること	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	15	25			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	スポーツ施設は利用者が多く、地域住民の集いの場となっているため社会的需要は高いと考える。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	スポーツ施設が破損した場合、即座に利用者に影響を及ぼすこと、災害時には避難所になることを考えると適切に維持管理していくことは有効だと考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・現地に行き、スポーツ振興公社職員や事業者の話を聞き、常に経費削減できないか模索して修繕にあたった。 ・自前でできることは自ら修繕にあたった。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	・現地に赴き、現場確認をしたりスポーツ振興公社職員や事業者の話を聞くことで、参考見積より低い価格で発注できたり、自前で修繕することができたため経費削減することができた。 ・老朽化が進む一方で市民の利用度が高い。予算の範囲内で利用者が納得できる維持管理が課題である。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
138

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	スポーツ施設指定管理事業				担当課	生涯学習課
業務名	-				担当係	スポーツ推進係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション			事業区分	指定管理
主な取組	2	スポーツ施設の整備充実			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	10	6	1	スポーツ施設指定管理事業	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図ります。

事業概要【PLAN】
市内にある社会体育施設の管理運営を民間に指定管理し、施設の効率的な管理運営を行います。

対象【PLAN】	①指定管理者 ②市民	意図【PLAN】	①民間のノウハウやアイデアを活かすことで市民サービスや費用対効果を向上させる ②市民がストレスなく施設を利用できる
-----------------	---------------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
従来の請負的体質が強く、単に施設管理に留まらないよう、民間の創意工夫による公共サービスが必要であるため、協議書により促していく。
必要があれば、公募により指定管理者を募り、より民間の活力を活かせるアイデアを持つ事業者を発掘していく。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	154,150	175,263	175,263	175,397		
	事業費合計	千円	154,150	175,263	175,263	175,397		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
管理施設数	施設	実績値が目標値以下となること	目標値	17	17	17	17	17
			実績値	17	17			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	社会体育施設の利用者は多いことから優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	・市長の手紙やお問い合わせメールでの報告数が昨年度から著しく改善されたことから、この体制を継続いただきたい。 ・伊達市の代表選手の応援やスポーツ団体への支援等、社会体育関係における貢献度は高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・指定管理している分、施設に対する時間は削減されている。 ・修繕関係では、指定管理者の見積もりを安易に信用せず、現場に赴き経費削減ができた。 ・職員配置の見直し等により人件費抑制ができた。 ・物価上昇に伴い、費用削減に努めても追いつかない状況である。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	電気料金をはじめとした物価上昇により、指定管理料が上昇している中で、本来の指定管理のメリットである「民間のノウハウやアイデアを活かす」ことがさらに求められる。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
139

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	スポーツ団体等活動支援事業				担当課	生涯学習課
業務名	-				担当係	スポーツ推進係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション			事業区分	補助
主な取組	3	スポーツ団体の活動支援			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	10	6	1	スポーツ団体等活動支援事業	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図ります。

事業概要【PLAN】
スポーツ・レクリエーション活動に取り組んでいる市民を増やすため、スポーツ等の団体に対して事業補助を行います。

対象【PLAN】	①市民	意図【PLAN】	積極的にスポーツ・レクリエーション活動に取り組んでいる市民が増えている。
-----------------	-----	-----------------	--------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
人口減少や生活の多様化等により縮小傾向にある、スポーツ団体への補助や積極的に活動している団体への支援、大会誘致のための支援を行う。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	8,560	6,680	7,165	7,230		
	事業費合計	千円	8,560	6,680	7,165	7,230		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
支援団体数	団体	実績値が目標値以上となること	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	9	8			
			達成率	90.0%	80.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団、スポーツ協会は地域の活性化において重要な役割を担っていることから必要と考える。 各種大会についても観光客等の関係人口が増え、地域活性化が図られることから必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	イベント開催、スポーツ少年団への支援等により、スポーツを始めのきっかけづくり、こどもの健全育成に効果をもたらしている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	特になし

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	財政難の中で、既存の団体への支援が年々減額している。また、新規の大会誘致やイベントに対する支援ができない。推進といいながら、市民は後退していると思うギャップをどうしていくかが課題である。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
141

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	スポーツ推進委員指導事業				担当課	生涯学習課
業務名	-				担当係	スポーツ推進係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション			事業区分	直営
主な取組	4	スポーツ指導者の育成・確保			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	10	6	1	スポーツ推進員指導事業	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図る。

事業概要【PLAN】
スポーツ基本法に基づき、各地域において一定のスポーツの知識を有するものに対して伊達市スポーツ推進委員として委嘱し、全地域においてスポーツの振興を図る。

対象【PLAN】	スポーツ推進員	意図【PLAN】	地域のスポーツリーダーとして企画運営を行い、多様なスポーツ活動の普及促進をしている
-----------------	---------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
スポーツ推進員への研修を実施し、意識醸成することで指導者の育成を図り、その知識を地域のスポーツ活動に還元していく。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,824	689	947	1,086		
	事業費合計	千円	1,824	689	947	1,086		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
スポーツ推進員主催イベント開催数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	-	-	1	1	2
			実績値	-	-			
			達成率	-	-			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	<p>スポーツイベントの支援等を行っている。</p> <p>スポーツ協会と平行線のように活動しているため必要性を認識しづらい。</p>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	<p>スポーツイベントの支援等を行っている。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、スポーツ推進委員は57名に委嘱している。令和6年度をもって任期満了となるため、推進委員の継続意向調査及び新任推薦者を確認したところ、2名の減少となった。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	委員の定員について、活動状況、他市町の状況などを精査し、より適正な定員数の検討を行いたい。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
142

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	スポーツ振興事業（再掲）			担当課	生涯学習課
業務名	総合型地域スポーツクラブ			担当係	スポーツ推進係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション		事業区分	全部委託
主な取組	5	多様なスポーツ活動の普及促進		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	10	6	スポーツ振興事業	

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図ります。

事業概要【PLAN】
市民が一人スポーツに親しむことで、健康で豊かな暮らしができる社会を実現するため、各種体育大会の支援をはじめスポーツ推進団体に対する補助等を行います。

対象【PLAN】	①市民	意図【PLAN】	①市民がスポーツを楽しんでいる。 ②子供がスポーツに触れるきっかけを作っている。
-----------------	-----	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
運営開始から3年間はジュニア世代を主な対象としていたが、今後、高齢者や働き世代と段階的に範囲を広めて事業を拡大していく。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	14,387	13,434	14,633	14,000		
	事業費合計	千円	14,387	13,434	14,633	14,000		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
総合型スポーツクラブ会員数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	100	120	200	250	300
			実績値	173	259			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	<ul style="list-style-type: none"> 小学生低学年までの子供やスポーツ少年団に加入する前の子供たちにとって、スポーツをするきっかけづくりになるためニーズは高い。 部活動地域移行の受皿として必要性が高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 入会している家庭のアンケート結果によると、満足度は高い。 子供の健康保持・増進や青少年の健全育成に寄与している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> 今が認知度を高める絶好機のため、規模を縮小するような効率性を求める時期ではない。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	<ul style="list-style-type: none"> 計画より1年早くジュニア世代から全世代対象の事業ができた。 部活動地域移行に向けて受皿となる種目を立ち上げることができた。 成人、高齢者を対象とした事業の拡大を図る。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
143

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	スポーツ全国大会等参加奨励事業				担当課	生涯学習課		
業務名	-				担当係	スポーツ推進係		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	4	スポーツ・レクリエーション			事業区分	直営		
主な取組	5	多様なスポーツ活動の普及促進			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	10	6	1	スポーツ全国大会等参加奨励事業			

目的と方針【PLAN】
市民一人ひとりが日常的にスポーツを楽しみ、心身の健康の保持・増進とともに、健康で文化的な生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の場と機会の充実を図ります。

事業概要【PLAN】
スポーツの全国大会等出場者に対して奨励金を交付し、スポーツ振興及び技術の向上を推進します。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市民にスポーツを普及し、技術が向上している。
-----------------	----	-----------------	------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市民がより高い意識を持ちスポーツに取り組むことができるよう、競技力向上を推進するための環境づくりをしている。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,270	4,372	8,700	1,800		
	事業費合計	千円	1,270	4,372	8,700	1,800		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
交付件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	40	40	45	45	48
			実績値	58	64			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	<ul style="list-style-type: none"> 全国大会への奨励金は市民にとって励みとなり、ほぼすべての市町村で実施しているため必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 市内高等学校に対する奨励金については、団体の行動するため費用不足が懸念されることから社会貢献に繋がっている。 全国大会出場者も同様に交通費等の負担軽減になっていることから満足度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	特になし

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	全国大会出場者や市内高等学校が全国大会に出場する種目が増えているため、予算の拡充が必要である。
--------	----	-------------------------	---